

令和3年度 学校自己評価システムシート（埼玉県立越谷南高等学校）

目指す学校像	「文武両道」とおとして「知・徳・体」の調和を実現し、目標を高く持って社会に貢献する人材を育てる学校
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 令和4年度新学習指導要領実施に向けて、PISA 型学力の向上や ICT 活用による自学力向上を目指した授業改善・教材開発を推進する。 自主性を育む生徒指導や個に応じた進路指導を充実させるとともに、学校行事、部活動により文武両道に基づく豊かな人間性を育てる。 外国語科の特性を生かし、異文化理解を深めるとともに、語学力を高め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 本校の教育活動を積極的に発信し、地域・保護者・大学等と連携して開かれた学校づくりを推進する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p>【現状】令和4年度入学生の教育課程を編成し、新たに「PISA タイム」の導入を決定した。来年度2・3年生についても教育課程の見直しを進めている。 ・授業以外の学習時間が本校の目標時間に達していない。 【課題】令和4年度教育課程の実施に向けて付帯事項の解決を図る。 Chromebook 等を活用した学びで家庭学習時間の増加を支援する。</p>	<p>「PISA タイム」全校実施のために令和4年度教育課程を再編成する。</p> <p>1・2年生は、授業以外の学習時間を1日2時間以上又は週14時間以上を達成する。</p>	<p>①全学年一斉導入に向けた教育課程説明会を5月末までに実施する。 ②3年間を見通した「PISA タイム」教材を開発し、実証する。</p> <p>①スタディサプリでの学習等により、隙間時間を有効活用させる。 ②越南 Diary でスケジュール管理をさせる。 ③学びの基礎診断(スタディサポート)を活用し学習意欲を高める。</p>	<p>①生徒・保護者理解を Q&A で促進できたか。 ②実証実験と改善を繰り返し実施したか</p> <p>①授業以外の学習時間数目標達成者 60%以上 ②越南 Diary を 60%以上有効活用したか ③生徒評価アンケートでの授業満足度 80%以上</p>			
2	<p>【現状】ほとんどの生徒は、基本的な生活習慣を身に付けている。部活動、学校行事、生徒会活動にも意欲的で多くの部活動が高い実績を上げている。 【課題】今年度定めた完全下校時間を守り、規律ある生活リズムを身に付けさせる。 コロナ禍での安全で充実感の持てる学校行事や部活動の運営を工夫する。</p>	<p>遅刻者ゼロを目指し、完全下校時間を徹底する。</p> <p>コロナウイルス感染状況に応じ、適切に学校行事や部活動を行う。</p>	<p>①始業前学習を奨励し、5分前登校を促す。 ②完全下校 19 時(体育館 20 時 15 分)を順守する。</p> <p>①感染拡大防止の観点から学校行事計画を適切に見直し、変更する。 ②ガイドラインに沿って部活動活動計画を策定し、生徒への周知と保護者への説明を円滑に行う。</p>	<p>①遅刻者数(昨年度以下) ②生徒アンケート(生活状況の意識の変化)</p> <p>①学校行事の開催時期と実施方法の工夫したか ②毎月の活動計画を策定し生徒保護者に周知したか</p>			
3	<p>【現状】外国語科の強みを生かし普通科生徒の異文化理解が深まっている。コロナ禍で海外英語研修が未実施のため、国内の外部機関等と連携を模索している。 【課題】オンラインの国際交流も検討する必要がある。</p>	<p>海外研修以外の国際交流活動等により、全校的に異文化理解に取り組む。</p>	<p>①ALT や第二外語による異文化理解教育の推進を継続する。 ②コロナ禍でも実施可能な異文化体験の方策を実施する。 ③外部検定スコア結果分析と蓄積したスコアデータを有効活用する。</p>	<p>①外国語科生徒の授業満足度が向上したか(昨年度 80%) ②代替体験の実施と生徒満足度が得られたか ③GTEC 等スコアの分析と中学生進路希望調査結果</p>			
4	<p>【現状】学校説明会2回で2200名参加した。ICT 推進パイロット校として得られた知見やノウハウを多く蓄積している。 【課題】コロナ禍での情報発信と学校説明会実施方法の改善が必要である。 ICT 推進パイロット校で蓄積した知見を他校や異校種校へ還元する取り組みが求められる。</p>	<p>ICT 推進パイロット校として蓄積した情報や教育活動の成果を発信し、生徒募集に繋げる。</p>	<p>①ホームページに ICT 推進パイロット校で蓄積した情報を学期に1回掲載する。 ②ホームページの部活動ページを刷新するとともに、随時更新する。 ③コロナ禍に対応した安全で効率的な学校説明会を年間2回実施する。</p>	<p>①ホームページ内での情報公開を毎学期行ったか ②ホームページ更新数が昨年度(187回)を上回ったか ③学校説明会の参加者数向上(昨年度2200名)</p>			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和4年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	

